

学校事故防止に向けた 取り組みを見直す

学校教育課通信

平成28年6月3日（金）第126号

編集・発行：県南教育事務所 佐藤 晃

平成28年5月25日に、学校事故防止対策研究協議会が行われました。健康教育課から配付された資料を基に、もう一度「児童生徒の事故防止」について必要な視点を再確認したいと思います。

学校安全における3領域

1 生活安全

2 交通安全

3 災害安全

学校安全における領域は、左の図の通り3つの領域に分かれています。

どの領域にも「ハインリッヒの法則」に基づいた点検の視点と緊張感の保持が大切です。

※ハインリッヒの法則… 1件の重大な事故・災害の裏には、29件の軽微な事故や災害があり、300件のヒヤリ・ハットの事例がある。

3領域の内容と事故防止対策のポイント

領域1 生活安全

○ 学校が講ずべき措置

- (1) 施設・設備の安全点検と適切な措置
- (2) 児童生徒の健康状態の把握と対応
- (3) 体育・部活動・実習等の安全確保
- (4) 不審者侵入防止対策
- (5) 登下校時の防犯対策
- (6) 食の安全対策
- (7) 感染症対策
- (8) 喫煙・飲酒・薬物乱用防止対策
- (9) 情報ネットワーク活用に関する安全対策

○対策として重要なキーワード

- (1) 日常の点検・迅速な措置・安全指導の徹底
- (2) 情報共有・個に応じた対応・報連相の徹底
- (3) 場所の点検・事前の指導・危険予知と適切な処置
- (4) 出入り口の制限・事態を想定した訓練
- (5) 安全指導・関係機関との連携・マニュアル整備
- (6) 異物混入時早急な指示・食物アレルギー研修
- (7) 予防対策の共通理解・発生時のマニュアル整備
- (8) 薬物乱用防止教室の実施・統計情報等の理解
- (9) 情報モラル教育の充実・保護者への啓蒙

領域2 交通安全

○ 安全確保に向けた取り組み

- (1) 通学路における緊急合同点検の実施
- (2) 学校安全指導者養成研修会の実施

○対策として重要なキーワード

- (1) 定期的な安全点検 保護者地域からの情報収集
(県内対策必要箇所463箇所 全対応済み)
- (2) 指導力向上 実効性のある訓練の実施
(県南はH27年に実施済み)

領域3 災害安全

○ 学校が講ずべき対策

- (1) 学校防災マニュアルの整備
- (2) 雷発生時の安全対策
- (3) 学校火災の予防対策
- (4) 大気汚染緊急時対策
- (5) 放射線対策

○対策として重要なキーワード

- (1) 事前の備えがすべての対応の基本
- (2) 迅速な避難指示
- (3) 整理整頓・設備の点検・避難訓練の実施
- (4) 屋内退避・健康被害情報の報告
- (5) 情報提供・放射線教育の推進

5つの目と2つの育成、1つの構築で、リスクマネジメント強化

組織として学校を見つめる「総合観察力」が、「リスクマネジメント力」となります。

・児童生徒を看る目
・教職員を看る目
・施設を診る目
・保護者を看る目
・地域を見る目

+

・教職員のリスクマネジメントの育成
・児童生徒のリスクマネジメントの育成計画

+

・情報収集、連携強化のためのネットワークの構築

=

リスクマネジメントの強化